

最近、機械が発展し、人間の仕事が少なくなってくるということをよく耳にする。確かに、AI やロボットの技術で、暮らしが便利に、豊かになっている場面を日々感じられる。例えば、少子高れい化が進んでいる今、お年よりの方の一人暮らしが増えている中、AIの犬型のロボットも使われている。ロボットは心のいやしにもなってくれる場面がある。その他にも、製造業を支える機械もある。人間がすると大変なことを機械がサポートしてくれていたり、よく知られている人型ロボットなど、接客をサポートしてくれている機械もある。家庭でも、機械に助けられている場面がたくさんある。例えば、ホームベーカリーだったら、自分でパンの材料こねて焼けばいいものを、全てやってくれている。このように、身近なところで、機械は大きく発展している。

その技術の発展は、すばらしいことだと思うし、日本の未来を変えていってくれるだろう。でも、その機械の便利さに、人間がたよりすぎているような気もする。例えば、コマースで、機械に対して、電気をつけてとたのんでいた。それはコマース上の演出だけど、自分で問題なくできる事は、自分でした方が良かった。様々な場面で、機械にたよりすぎではいけないことも多く出て来ると思う。

機械は、人間よりも早く作業ができたり、きれいにものが作れたりするものもあるだろう。でも、その一方で、人間にしかできないこともあると思う。例えば、私は小学校の頃から中1の始めにかけて、金管バンドに所属しているが、よく先生から

「機械では奏でられないような、人間の音楽にして。」

と言われる。確かに、完璧に音楽を奏でられるのは機械だ。でも、音楽は完璧だと、全く面白くない。人間の奏でた、味のある音楽の方が、聞いててよっぽど感動する。それに、AIは何でもできるように思われているが、調べたところ、AIは、何も無いところから何か発想することはできないらしい。だから、最新のアイデアグッズを作るとか、今の時代に合わせた商品を開発できるのも、人間だけだ。このように、人間にしかできないこともたくさんある。人間がした方が良く、ことまで機械にたよってしまったら、人間が存在する意味がなくなってしまう。

機械の方が効率良くできる仕事も、たくさんあるだろう。でも、人間にしかできないこともたくさんあるはずだと思う。機械にしかできないことをサポートしてもらい、人間にしかできないことは自分たちです。そんなふうに、人間と機械がバディーを組んで協力して、より良い世の中をつかっていけたら、人間にとっても、機械にとってもプラスになると思う。